

事務事業名	浮浪者行旅病人及び行旅死亡人援護事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	経常	開始	終了		
H29作成課等名	福祉課	H29係等名	生活福祉係	H28担当課等名 福祉課				
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	36	生活困難者の自立及び支援					
目的	対象(誰・何を)	浮浪者、行旅病人及び行旅死亡人		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	最低限の援護がなされる			移動用旅費支給者(人)	1		
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)			最終目標は過去3年間の平均(人)	2.3		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	移動用旅費等支給者数/旅費等支給希望来所者数(%)		100	0	100	100	
	定性目標							
事業概要	浮浪者に対し移動用の旅費食費計500円の支給を行う。冬季等でやむを得ない場合は宿泊保護を行うこともある。行旅死亡人及び葬儀を執り行う者のいないものに対する葬儀等を執り行う。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 浮浪者に対し、移動用旅費及び食費を交付。冬期間は宿泊費を支給。 2 行旅死亡人及び葬儀を取り行う者のいないものに対する葬儀等を執り行う。			1 浮浪者対応 (1)移動用旅費等支給者 (2)宿泊保護者 2 行旅死亡人等対応		1 (1)1人 (2)0人 2 0人		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		0	72	1	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		0	72	1				
人件費計(千円)②		0	715	0	0			
正規職員所要時間		0	200					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		0	787	1	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	本事業の対象者は1名だった。							
改革改善の考え方	①問題点	予測ができないので、適宜対応する他ない。						
	②改革提案	今後も浮浪者、行旅病人、行旅死亡人等が出れば対応していく。						